

所属名	事務事業名	ページ番号
観光振興課	浮立の里展示館管理運営事業	2
観光振興課	観光協会事業	3
観光振興課	広域観光事業	4
観光振興課	観光広報PR事業	5
観光振興課	佐賀空港内販売所観光情報発信事業	6
観光振興課	観光情報発信拠点設置・運営支援事業	7
観光振興課	観光商品開発事業	8
観光振興課	観光ボランティア育成事業	9
観光振興課	佐賀市北部の魅力発見・発信事業	10
観光振興課	天山登山口駐車場トイレ用地復旧整備事業	11
観光振興課	インバウンド観光推進事業	12
観光振興課	アジアの観光客おもてなし推進事業	13
観光振興課	コンベンション誘致推進事業	14
観光振興課	佐賀城下ひなまつり事業	15
観光振興課	佐賀城下栄の国まつり開催事業	16
観光振興課	SAGAバルーンチャレンジシリーズ事業	17
観光振興課	古湯映画祭開催事業	18
観光振興課	三瀬高原キャンペーン	19
観光振興課	地区の各種まつり等開催補助事業	20
観光振興課	宿泊支援事業	21
観光振興課	観光広報PR事業	22
観光振興課	「SAGAつながるタクシー」構築事業	23
観光振興課	佐賀観光リカバリー事業	24
観光振興課	バルーンミュージアム管理運営事業	25
観光振興課	大隈重信記念館管理運営事業	26
観光振興課	歴史民俗館管理運営事業	27
観光振興課	筑後川昇開橋維持管理事業	28
観光振興課	やまびこ交流館維持管理事業	29
観光振興課	観光情報発信会館維持管理事業	30
観光振興課	泉源管理事業	31
観光振興課	熊の川温泉衛の湯管理事業	32
観光振興課	やまびこの湯管理事業	33
観光振興課	温泉地活性化推進事業	34
観光振興課	熱気球大会開催事業	35
観光振興課	バルーンさが駅改修事業	36

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	浮立の里展示館管理運営事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	
	施策	28未来につながる文化の振興	
	基本事業	歴史遺産等の保存・継承と整備・活用	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	浮立に関する民俗上貴重な資料を収集し、保存及び展示を行い、文化的学習施設として市民や観光客へ紹介するとともに、これらの資料を伝承するため、展示館を設置する。				
事業の対象者	市民、佐賀市を訪れる観光客、市民伝統文化の伝承者				
R2年度 主な活動実績	浮立の里展示館の管理・運営を行い、来館者に市川地区を含む富士町内の5つの天衝舞を紹介した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,811				
うち佐賀市の負担額	3,793				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
235	250	250	250	250		

成果指標②						単位
						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
施設の性質及び立地等を考えた場合、観光施設としての来館者の増加は難しい状況である。老朽化した設備の修繕等を行い、受け入れ体制を整えるとともに、周辺の歴史的資産や自然と連携した事業展開を検討する必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光協会事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の観光振興及び観光誘客を図るため、佐賀市観光協会が実施する事業及び運営に要する経費の一部助成する。 観光客の利便を高めるため、佐賀駅構内観光案内所において観光案内等を行う。				
事業の対象者	観光客及び市民				
R2年度 主な活動実績	(助成による事業内容) ・観光商品・ツアーの造成、誘客セールスの実施、ホームページ・SNS・パンフレット等による観光情報発信、地域イベント開催支援、事務局運営及び管理 (観光案内所) ・市内観光・イベント等案内の実施、8:30~18時(土日祝17時) ※12/31~1/3除く				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	44,402				
うち佐賀市の負担額	44,402				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市観光客数(暦年) ※イベント除く日帰り客+宿泊客						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,819	4,358	4,438	4,519	4,603		

成果指標②						単位
観光案内件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
7,175	14,000	28,000	28,000	28,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の拡大により観光客が大幅に減少した。回復に合わせて佐賀市を選択してもらうための効果的な誘客、受入環境整備を図っていくための事業実施への支援を行っていく。 観光案内所は新型コロナの影響前(H30)の件数の回復を目指す。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	広域観光事業	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	幅広い観光ニーズに対応するため、近隣の行政・観光団体等と連携し、広域的な観光資源を活用した誘客の展開を図る。（連携団体：九州観光都市連盟、佐賀県観光連盟、シュガーロード連絡協議会、佐賀広域観光等推進協議会、天山自然公園協議会ほか）				
事業の対象者	観光客				
R2年度 主な活動実績	連携団体への負担金を拠出し、団体が行う商談会や誘客セールス、情報発信、イベント等への参加・協力を行った。 食を通じた観光振興を図る団体（佐賀市はシシリアンライスdeどっとこむ）が実施する、広域的な観光PRに要する経費への助成を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,978				
うち佐賀市の負担額	3,978				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市観光客数（暦年）※イベント除く日帰り客+宿泊客						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,819	4,358	4,438	4,519	4,603		

年度	目標	実績
R2	2,819	2,819
R3	4,358	
R4	4,438	
R5	4,519	
R6	4,603	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の拡大により、通常形式での事業実施が難しい状況であったが、オンライン形式での事業実施や、アウトドア関係のイベントを実施するなど、コロナ禍の状況に合わせた事業への参加を行った。回復に合わせて引き続き連携しながら誘客等を図っていく。食を通じた観光振興事業への助成は一定の成果が出ているため内容の見直しを図っていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光広報PR事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市内の各種イベントや観光施設等の観光情報を、様々なメディアの媒体を活用しPRし、誘客を図る。				
事業の対象者	観光客及び市民				
R2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・施設看板等掲出物による広報PRの実施（9件） ・新聞、雑誌掲載、SNSによる広報PRの実施（9件） ・TV、映像制作等による広報PRの実施（6件） ・シュガーロードパネル展などのPRイベントの実施（3件） ・PR用ノベルティグッズの制作（3件） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	14,791				
うち佐賀市の負担額	14,791				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市観光客数（暦年）※イベント除く日帰り客+宿泊客						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,819	4,358	4,438	4,519	4,603		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の拡大により、バルーンフェスタ等の大型イベントが中止となり、通常行っている対外的な広報PRが実施できなかった。回復に合わせて佐賀市を選択してもらうため、効果的な広報PRを行い、誘客につなげていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀空港内販売所観光情報発信事業	事業期間	平成 21 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市内における交通拠点である九州佐賀国際空港内の商品販売所で、関東を中心とした都市圏及び中国・韓国をはじめとするアジア諸国からの観光客に向けて、佐賀市内の観光情報を発信し、佐賀市の特産品の紹介を行うことにより、販路拡大及び誘客促進を図る。				
事業の対象者	九州佐賀国際空港利用者				
R2年度 主な活動実績	販売所内での佐賀市内観光動画及びパンフレットによる観光情報発信、地元産品展示、販売 場所：九州佐賀国際空港 2 階販売所 開業時間：8:30～最終出発便出発15分前まで ※年中無休				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	年度	年度	年度	年度
事業総額	8,386				
うち佐賀市の負担額	8,386				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
空港内販売所利用者数					人
R2 実績	目標	目標	目標	目標	
9,619	実績	実績	実績	実績	
成果指標②					単位
実績	目標	目標	目標	目標	
	実績	実績	実績	実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の拡大により国内・国際便の運航が減少し、利用者は大幅に減少した。（R1:32,785人） 当事業については、運営を佐賀県と共同で行っていたが、令和3年度からは佐賀県（デザイン公社）単独での運営となったことから今年度で廃止となった。空港における観光情報発信は1階に佐賀県観光連盟が新設する観光案内所と連携し実施する予定。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光情報発信拠点設置・運営支援事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	SAGAMADOを設置・運営（6/20開業）する佐賀市観光協会に対し経費の一部を助成し、観光客のニーズに沿った相談対応、旅の提案等ができる体制の構築、市及び県域の様々な観光・イベント情報の発信を行う。				
事業の対象者	観光客及び市民				
R2年度 主な活動実績	【営業日時】9～20時（観光案内9～18時）※1/1除く 【事業内容】市内・県内観光案内、交通案内、ホームページ・SNS情報発信、ツアーの造成・販売、手荷物預かり、ガイド受付、プロスポーツ連携イベントの実施 【設備内容】観光案内カウンター、Wi-fi、携帯充電コーナー、フリースペース 【その他】さが県産品流通デザイン公社との共同運営（県産品展示・販売、テストマーケティング等）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	30,000				
うち佐賀市の負担額	24,298				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観光案内人数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	
1,834	2,000	2,500	3,000	3,500		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	R6 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の拡大により観光客が大幅に減少していることもあり、本来の来訪者の数ではないと思われる。今後の回復に向け、市内観光関連事業者との連携・情報共有の強化、対外的なPRにより、佐賀の玄関口としての周知を図り、来訪者の増加と利用者の満足度向上につなげる。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光商品開発事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	観光誘客を図るため、市内の観光資源の整備・活用及び各種ツーリズム等の商品開発を実施した。				
事業の対象者	観光客				
R2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドア拠点開発に向けたキャンプ実証試験の実施（3回） ・サイクリング商品造成のためのモニターツアーの実施（2回） ・三瀬地区誘客促進のための環境整備の実施 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,069				
うち佐賀市の負担額	4,069				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観光商品開発数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	3	3	3	3		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
コロナ禍の中で実践可能な観光商品開発に向けて事業に取り組む。サイクルツーリズムについては、昨年度に策定したモデルコースを使った商品造成を行った。次年度はさらにサイクリング団体との連携によるガイドツアー商品造成を目指す。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

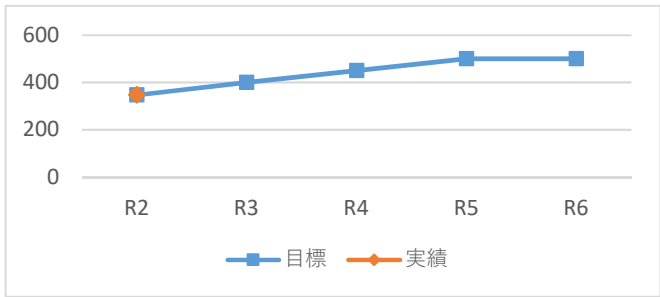
事務事業名	観光ボランティア育成事業	事業期間	平成 14 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成	

1 事務事業の基本情報

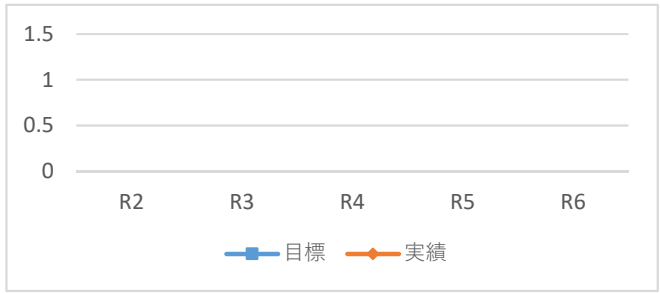
事業概要・目的	佐賀市の様々な観光情報の提供とおもてなし精神あふれるきめ細かい案内ができる観光ボランティアを育成するとともに、活動しているボランティアのスキルアップを図る。				
事業の対象者	観光ボランティア希望者				
R2年度 主な活動実績	佐賀市観光協会への委託により以下の事業を実施した。 ・定例会議、勉強会 10回 ・研修会（ガイド磨き上げ研修、新規コース検討・造成、視察研修等）9回				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	550				
うち佐賀市の負担額	550				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観光ボランティアが案内した観光客数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
347	400	450	500	500		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルス感染症の拡大により観光客が減少し、実際のガイド活動自体は機会が少なかったが、その分研修を充実し、新規コース造成等に取り組んだ。今後ガイドを受けた方の満足度向上に向け、アンケートを取る仕組みを検討する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市北部の魅力発見・発信事業	事業期間	平成 29 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市北部地区の魅力を発見し、広く発信することで、福岡市など域外からの交流人口を増やし、観光面や産業面において地域を活性化させる。				
事業の対象者	県民及び福岡都市圏の住民				
R2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、SNS、広報誌等での情報発信 ・旅行者や地元の人がつろげる交流スペースの運営 ・月例での映画上映会など、人が拠点を訪れる機会を創出 ・レンタサイクルにより、周遊してもらう機会を創出 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,450				
うち佐賀市の負担額	3,450				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
イベント参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
286	300	400	450	500		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
地域の魅力や出来事など、色々な観光情報の発信するとともに、旅行者、イベント参加者、地元の人と一緒に楽しめる拠点づくりを続けていく。

令和3年度 公共事業進捗報告シート

公共事業名	天山登山口駐車場トイレ用地復旧整備事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

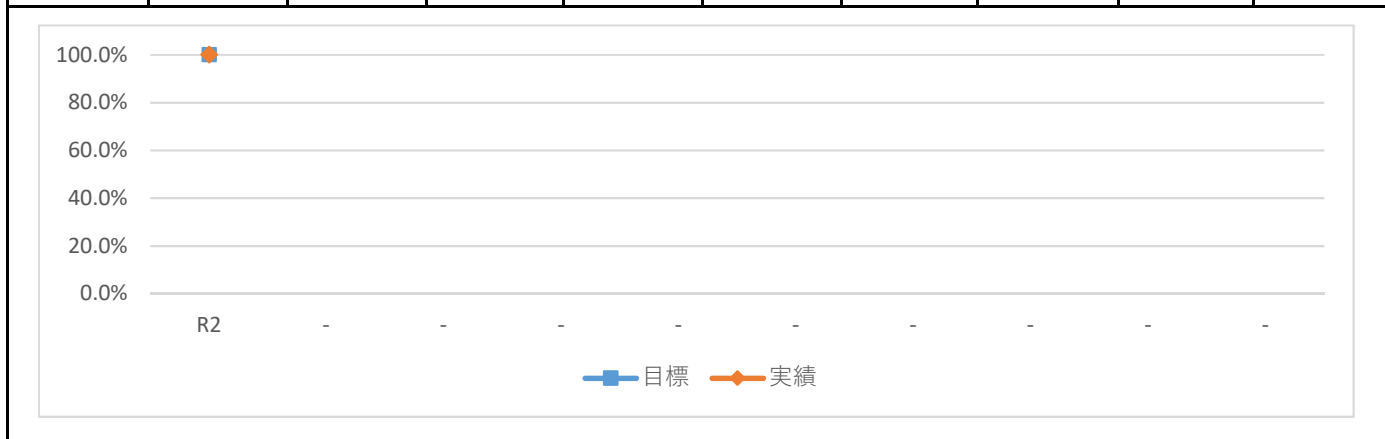
1 公共事業の基本情報

整備概要	平成30年7月の豪雨により崩壊している天山登山口・天川駐車場トイレの東側法面について、復旧工事を行う。
整備の目的	天山登山者の利便性を向上させ、快適に登山を楽しめる環境を整える。

事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	年度	年度	年度	年度
工事請負費	6,149				
測量・監理等委託料					
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	6,149				
うち佐賀市の負担	4,100				
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					6,149
測量・監理等委託料					
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計					6,149
うち佐賀市の負担					4,100

2 事業の進捗率

R2	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	100.0%								
	100.0%								



令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	インバウンド観光推進事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	アフターコロナ期におけるアジアをはじめとした海外からの観光客を増加させるため、本市の観光情報発信や市内の受入体制を強化し、誘客促進を図る。				
事業の対象者	アジアを中心とした海外からの観光客				
R2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> デジタルマーケティング（佐賀市PR動画広告配信等）による情報発信 再生回数：約50万回 インバウンド向け特設ウェブサイト運用、改修 コンテンツ追加：30カ所 商談会への参加（オンライン2回） リムジンバス（空港⇄バスセンター）Wi-fi設置による受け入れ環境整備（5台） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	9,361				
うち佐賀市の負担額	9,361				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
佐賀市内外国人宿泊者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
11,257	19,000	33,000	57,000	75,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大によりインバウンド観光客が激減した。回復に合わせて佐賀市を旅行先として選択してもらうための効果的な情報発信を継続していく必要がある。外国人宿泊客数は新型コロナの影響前（H30）の件数の回復を目指す。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	アジアの観光客おもてなし推進事業	事業期間	平成 28 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の観光情報発信などを行い、認知度向上を図り、アジアの観光客の誘客促進に繋げる。				
事業の対象者	アジアからの観光客				
R2年度 主な活動実績	世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大によりインバウンド観光客が激減したため、佐賀駅での観光案内対応は実施せず、情報発信のみ実施した。 ・韓国人観光客への情報発信の実施（instagram/facebook 588件） ・中国人観光客への情報発信の実施（Weibo 470件） ・徐福プロモーション（徐福伝説をテーマとした誘客）の実施				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,052				
うち佐賀市の負担額	2,052				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
佐賀市内外国人宿泊者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
11,257	19,000	33,000	57,000	75,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
今後の回復に向け、佐賀市を選択してもらうための効果的な情報発信を継続していく必要がある。 外国人宿泊客数は新型コロナの影響前（H30）の件数の回復を目指す。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	コンベンション誘致推進事業	事業期間	平成 27 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	コンベンションの誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	本市の宿泊者数を増加させ、観光客がもたらす経済波及効果の増大を図るため、佐賀市観光協会が実施する誘致活動や開催費助成等に要する経費の一部助成、誘致のためのパンフレット作成や会議等開催に向けた相談対応を行った。				
事業の対象者	佐賀市内で大会・会議等を開催する団体				
R2年度 主な活動実績	(助成事業内容) ・開催支援助成件数 2件 ・コンベンション推進団体との意見交換 2回 ・コンベンションガイド郵送、電話によるセールスの実施 ・貸出用PR横断幕、テーブルクロスの作成 ・誘致用パンフレット作成 ・相談対応 8件 ※新型コロナウイルス感染症の拡大により市内開催の大会等は激減した。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,244				
うち佐賀市の負担額	3,244				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
コンベンション事業を利用した市内宿泊者数(延べ)						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
938	4,000	10,000	20,000	25,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
今後の回復に向け、誘致活動を継続、特に令和4年度にはサンライズパークアリーナが完成予定であるため県や関係部署と連携した誘致活動を実施していく必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀城下ひなまつり事業	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	鍋島家伝来の雛人形や、佐賀錦、鍋島小紋の雛人形等を佐賀市歴史民俗館など歴史的に貴重な建物で展示し、佐賀の優れた生活文化をPRする「佐賀城下ひなまつり」の開催支援及びPRを行う。				
事業の対象者	市民、佐賀市を訪れる観光客				
R2年度 主な活動実績	令和2年度「第21回佐賀城下ひなまつり」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催直前に中止となったが、準備等に係る経費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,444				
うち佐賀市の負担額	2				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	46,000	69,000	92,000	116,000		

成果指標②						単位
経済波及効果						百万円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	336	504	672	841		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
従来イベントの見直しや新たなイベントの企画を行うとともに、様々な媒体を通じて市民に対して広く広報を行う。また、感染症拡大防止策等を徹底し、誘客につなげていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀城下栄の国まつり開催事業	事業期間	昭和 47 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民総参加を目指す佐賀城下栄の国まつりについて、市民と行政、企業等が一体となって取り組むことにより、市民の交流や中心商店街への誘客による観光消費の拡大を図るため、開催経費の一部を「佐賀城下栄の国まつり振興会」に助成する。				
事業の対象者	全市民及び近隣市町住民（観客）及びまつりイベントへの参加者				
R2年度 主な活動実績	令和2年度「第49回佐賀城下栄の国まつり」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となったため、中止広報費及び主催団体運営費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	386				
うち佐賀市の負担額	386				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
観客動員数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
-	235,000	236,000	237,000	238,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
従来イベントの見直しや新たなイベントの企画を行うとともに、様々な媒体を通じて市民に対して広く広報を行う。また、熱中症対策や安全対策といった環境整備にも力を入れ、誘客につなげていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	SAGAバルーンチャレンジシリーズ事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀インターナショナルバルーンフェスタ終了後の秋から冬にかけてのフライトシーズンにあわせ、ランキング方式のバルーン大会を4戦にわたって開催する。また、バルーン大会にあわせて朝市や熱気球係留体験搭乗を実施し、経済波及効果の増大を図っている。				
事業の対象者	北部九州、特に福岡都市圏を中心とした観光客数				
R2年度 主な活動実績	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、大会規模を縮小し、全3戦の大会を無観客で開催した。 【第1戦】令和2年12月26日(土) 【第2戦】令和2年12月27日(日) 【第3戦】令和3年1月9日(土) ※荒天のため中止。 ※バルーン朝市は中止。熱気球係留体験搭乗は、協賛企業限定で実施。				
決算の推移(単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,678				
うち佐賀市の負担額	1,678				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
観客動員数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	5,500	6,000	6,500	7,000		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
従来イベントの見直しや新たなイベントの企画を行うとともに、様々な媒体を通じて広く広報を行うことで県内外からの誘客につなげていく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

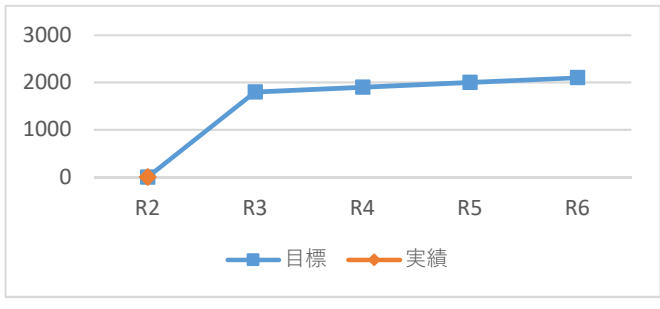
事務事業名	古湯映画祭開催事業	事業期間	昭和 59 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

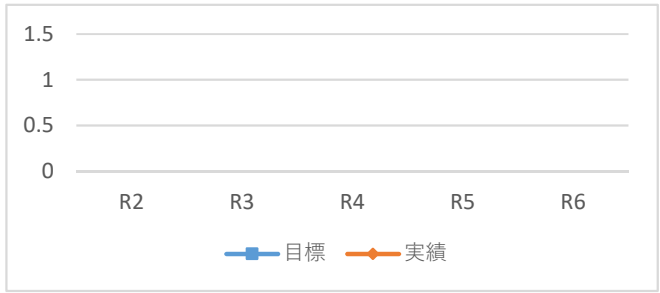
事業概要・目的	毎年テーマを決め、テーマに沿った映画を上映する。上映する映画の監督や出演した俳優、スタッフをゲストとして招待し、映画の合間には映画の裏話などを直接聞くことができるトークショーやパーティーを開催する。近隣の温泉施設と連携を図ることで、誘客促進につなげている。				
事業の対象者	佐賀県内及び北部九州を中心とした全国の映画ファン				
R2年度 主な活動実績	令和2年度「第37回富士町古湯映画祭」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止となったため、中止広報費の一部を助成した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	487				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
会場来場者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	1,800	1,900	2,000	2,100		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<p>コロナ禍の中でイベントを開催するために、検温や消毒等の基本的な対応に加え、入場制限を設けるなど感染防止対策を講じる必要がある。また、古湯・熊の川温泉街をはじめとする周辺部への回遊を誘導するような企画内容を検討していく。</p>

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	三瀬高原キャンペーン	事業期間	平成 20 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	福岡市と隣接し、佐賀市の北の玄関口に位置している佐賀市三瀬村において、福岡県側からの観光客誘客を促進するため、専門の情報誌を作成し、三瀬村の観光資源を積極的にPRしている。同時に、スタンプラリーを実施し、キャンペーン加盟店、観光施設間の周遊性を高めている。				
事業の対象者	佐賀県内及び福岡市からの来場者				
R2年度 主な活動実績	三瀬高原キャンペーン実行委員会が実施する、事業に要する経費の一部を助成した。 ・三瀬の観光に関する情報誌を作成し、三瀬村の観光資源のPR及びスタンプラリーを実施した。 (キャンペーン期間：令和2年9月18日～12月31日)				
決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,000				
うち佐賀市の負担額	1,016				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
スタンプラリー参加者数						人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標		
1,271	1,398	1,537	1,691	1,860		

年度	目標	実績
R2	1,398	1,271
R3	1,537	
R4	1,691	
R5	1,860	
R6		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
令和3年度夏季にやまびこの湯の指定管理者が行うグランピング事業と連携し、三瀬に滞在する観光客の周遊性を高める。また、広報誌の発行だけでなく、ホームページやSNS等での広報を行い、幅広い世代へキャンペーンの周知を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

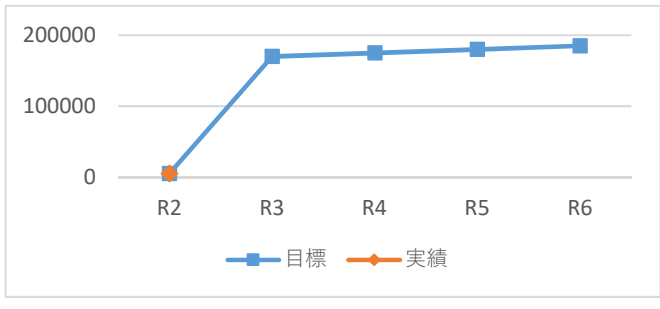
事務事業名	地区の各種まつり等開催補助事業	事業期間	昭和 57 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成	

1 事務事業の基本情報

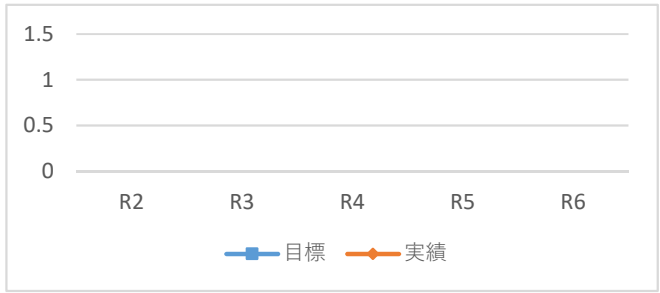
事業概要・目的	市内各地で開催される各種まつり、イベントに対して補助金を交付する。				
事業の対象者	市民				
R2年度 主な活動実績	【補助対象事業】 神野公園桜まつり、さが鑑真和上まつり、川上峡花火大会、諸富産業祭、三瀬ポップジャム（WEB配信） ※さが鑑真和上まつり及び川上峡花火大会については、開催準備費の一部を助成。（イベントは中止） ※その他のイベントについては、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,902				
うち佐賀市の負担額	3,902				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
観客動員数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
5,000	170,000	175,000	180,000	185,000	



成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
各まつりにおいて、寄附などの収入増加やコスト削減をしてもらうことで、補助金を削減することができるため、まつり事業者に理解を求め、調整を図ってきたい。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	宿泊支援事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民と一体となり地域経済の回復を促進するため、市民が市内の旅館等に宿泊する際の費用を一部助成する。 《助成額》 宿泊費の半額（1人1泊上限2万円）				
事業の対象者	市民、宿泊事業者				
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	年度	年度	年度	年度
事業費総額	48,079				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
宿泊者数					人
R2実績	実績	実績	実績	実績	
4,917					
活動実績②					単位
実績	実績	実績	実績	実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛要請等により、売上が落ち込んだ宿泊事業者に対し、安定的な経営に向けて支援するため、宿泊費の半額を助成し、経営回復に貢献した。また、対象者を市内限定としたことで、普段行かない近距離旅行への喚起にもつながった。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	観光広報PR事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光客の誘致	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けた市内経済を活性化させるため、域外からの誘客をすることなく持続的に消費を喚起する。 ・ECサイトの立ち上げ運営に関する支援 ・ECサイトへの誘導に向けた広報の実施 ・販売促進を図るキャンペーンの実施				
事業の対象者	市内事業者				
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	年度	年度	年度	年度
事業費総額	19,976				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
販売額					千円
R2実績	実績	実績	実績	実績	
1,051					

活動実績②					単位
実績	実績	実績	実績	実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

売上が落ち込んだ事業者が取り扱う市産品を、新たにPR及び販売したことにより、売上の向上に寄与した。これからもサイト内の商品の充実や工夫した広報による認知度の向上に努め、販売額を増やし、事業者の経営改善を支援していく。

令和3年度 事務事業実績報告シート

事務事業名	「SAGAつながるタクシー」構築事業	事業期間	令和2～令和3年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けているタクシー事業者を支援するため、タクシーを活用した観光促進の取り組みを行うとともに、市の観光の復活を図る。市内観光施設や飲食店をタクシー配車サービスにより結びつけ、小グループ単位での観光に合わせた新しいサービスを創設する。さらに、感染状況好転後のインバウンド客のタクシー利用促進にも繋がる仕組みを構築することにより、コロナ時代の新しい観光の在り方の創出を図る。				
事業の対象者	タクシー事業者、観光客				
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	年度	年度	年度
事業費総額	10,290				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
貸切タクシー及び割引チケット利用件数					件
R2実績	R3実績	実績	実績	実績	
188					
活動実績②					単位
実績	実績	実績	実績	実績	

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国の観光支援事業である「GOTOトラベルキャンペーン」の利用停止等もあり、県外への広報PRも十分にできず観光客の激減状況が続いたが、マイクロツーリズムの推進により、県内、市内の施設や団体へ小グループでの利用を提案した。今後も新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、利用促進に向けて効果的な広報PRを実施したい。

令和3年度 事務事業実績報告シート

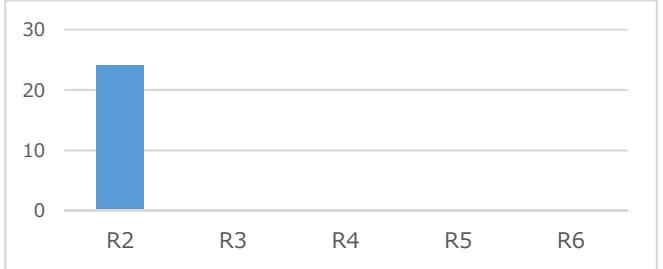
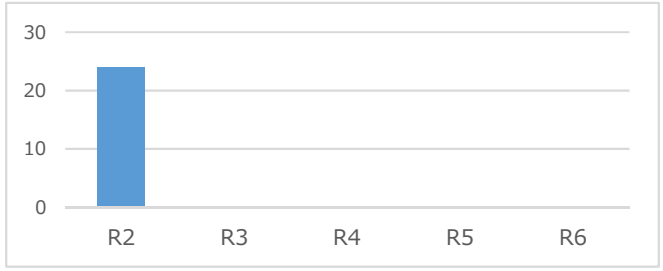
事務事業名	佐賀観光リカバリー事業	事業期間	令和 2 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光・コンベンション推進室	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画に おける位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けている観光関連事業者の支援のため、実施されるGo Toキャンペーンに合わせ、佐賀を目的地として選んでもらうための各種メディアを活用した集中的な広報PR、プロスポーツとの連携による観光客の誘致を図った。				
事業の対象者	観光客及び市民				
根拠法令等	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金制度要綱				
決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	年度	年度	年度	年度
事業費総額	8,432				
うち佐賀市の負担額	0				

2 事業の活動実績

活動実績①					単位
メディア、WEB等での観光情報発信回数					回
R2実績	実績	実績	実績	実績	
24					
活動実績②					単位
プロスポーツ連携イベント実施回数					回
R2実績	実績	実績	実績	実績	
24					

3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

年末からの新型コロナウイルス感染の再拡大に伴い、一部予定していた広報PRができなかった。
 今後の回復期に向けて効率的、効果的な広報PRを実施していく。
 プロスポーツとの連携による観光客の誘致については佐賀市観光協会SAGAMADOを中心に継続実施していく。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

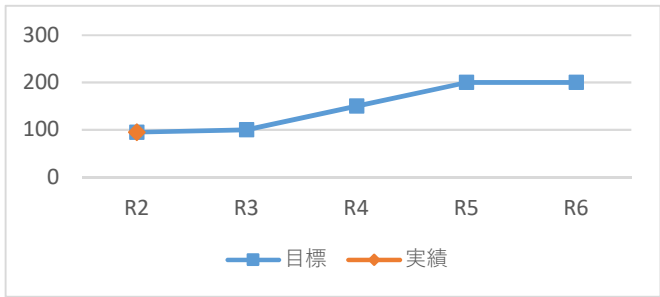
事務事業名	バルーンミュージアム管理運営事業	事業期間	平成 25 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	古賀 伸輔	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	O1魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光機能の整備		

1 事務事業の基本情報

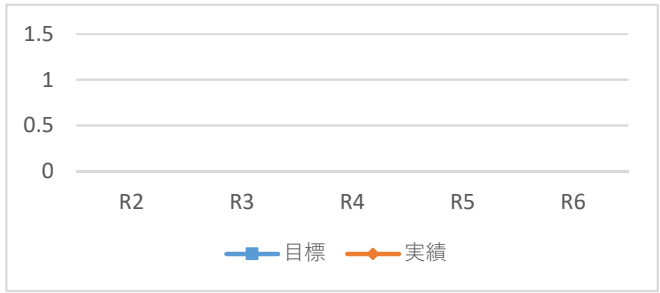
事業概要・目的	観光客及び市民が年間を通じてバルーンに関する情報に触れることが出来る、バルーンをテーマとした国内初の常設の展示館を運営し、観光拠点として位置付けることにより、「熱気球のまち佐賀市」の魅力を広くアピールするとともに、観光振興及び地域経済の活性化に資する。				
事業の対象者	市民及び観光客				
R2年度 主な活動実績	企画展「サンデーキッズ・ワークショップ」8回（7月、12月） 他 企画展「まるぼうろ実演販売」8回（1月、3月） 共催イベント「ロマ佐賀マンホールストリート記念デジタルスタンプラリー」（10/29～1/31、2/11～3/21） 館内展示「ゾンビランド佐賀パネル設置」「ゾンビランドサガ等身大パネル設置」他				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	62,437				
うち佐賀市の負担額	49,401				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
95	100	150	200	200		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
新型コロナウイルスの影響により、施設利用者や観光客の来館者数が大きく減少したが、回復に向けて魅力あるイベントや企画展などを開催しながら、他の観光施設との連携や、効果的な広報に努め誘客促進を図りたい。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	大隈重信記念館管理運営事業	事業期間	昭和 47 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	古賀 伸輔	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	01魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光機能の整備		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	世界的政治家として、また、早稲田大学の創設者として有名な大隈重信侯の誕生125年を記念して建設された大隈重信記念館を観光資源として、県内外から観光客を誘致するため、記念館の維持管理を行う。				
事業の対象者	佐賀市を訪れる観光客、市民、早稲田を目指す学生、在校生、卒業生				
R2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・開館日数 336日、休館日数 29日 ・当館図録の作成 ・フリーペーパーへの記事掲載 1回 ・当館企画展「今につながる大隈の遺産～あるのである～」を実施 1回（1/9～3/28） ・大隈侯100回忌法要実施（1/10）等 ・SAGAMADOにおける特別展示の実施（3/15～3/28） 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	21,011				
うち佐賀市の負担額	528				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
施設利用の満足度						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
75	77	79	81	83		

成果指標②						単位
年間入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
5,524	8,000	10,000	12,000	14,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
佐賀市内の観光施設及び歴史的施設との連携を深めるとともに、バルーンフェスタやひなまつり等のイベントと合わせた誘客を行うことで、更なる成果向上を図る。また令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により入館者数が大幅に減少したが、今後状況を見ながら、当該施設のパンフレットをはじめ、ホームページやSNS等を活用し、当該施設の広報を随時行い、国内外からの観光客の誘致に繋げる。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	歴史民俗館管理運営事業	事業期間	平成 9 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市歴史民俗館の有効かつ効果的な活用のため、イベントの実施など観光振興の拠点として集客を高めることを目的とした管理運用を適切に行う。 社会資本整備総合交付金を活用し、歴史民俗館のうち5館（旧古賀銀行、旧古賀家、旧三省銀行、旧福田家、旧牛島家）の改修工事				
事業の対象者	市民及び観光客				
R2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公募イベントの実施（8件） ・旧福田家及び旧三省銀行の改修工事 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	109,172				
うち佐賀市の負担額	64,039				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
年間入館者数					人
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	
38,725	100,000	180,000	180,000	180,000	
R3 実績					

成果指標②					単位
公募イベントの実施数					件
R2 実績	R3 目標	R4 目標	R5 目標	R6 目標	
8	10	10	10	10	
R3 実績					

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、施設の閉館等の影響もあり、施設利用者及び観光客の来館者数が大きく減少した。回復に合わせて、施設のイベント開催や施設の広報に努め、観光客の誘客を図り、コロナ感染拡大前の来館者数の回復を目指す。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	筑後川昇開橋維持管理事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	筑後川昇開橋の維持管理をはじめ、広報・イベントの開催などを行い、観光客の誘客を図る公益財団法人筑後川昇開橋観光財団に対し、その経費の一部を助成する。				
事業の対象者	佐賀県内外の観光客				
R2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人筑後川昇開橋観光財団のホームページにおいて、ドローンで撮影した昇開橋全景動画を公開 ・小中学生を対象としたスケッチコンテストを開催 ・写真・絵画コンテストを開催 ・新聞、テレビ、財団ホームページ等において各イベントの周知を実施 ・昇開橋グッズの販売 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,300				
うち佐賀市の負担額	6,300				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
遊歩道通行者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
42,934	45,000	48,000	50,000	53,000	

成果指標②					単位
イベント参加者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
243	300	400	500	600	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
近隣にある、佐賀市観光情報発信会館（橋の駅ドロンパ）や新北神社をはじめ、令和2年度に開館した東与賀干潟ビジターセンターひがさす、令和3年度にリニューアル予定の佐野常民記念館及び三重津海軍所跡など、佐賀市南部の観光資源とさらに連携を深め、目標達成に繋げたい。新型コロナウイルスの状況を見ながら広報等を行い、通行者数及びイベント参加者数の回復を目指す。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	やまびこ交流館維持管理事業	事業期間	平成 13 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	古くから継承されてきた民家等を保存活用するため、農機具その他の展示のほか、生活様式、農作業体験及び市内外の住民の交流を行う場として交流館の維持管理を行う。				
事業の対象者	市民及び観光客				
R2年度 主な活動実績	やまびこ交流館を維持管理し、宿泊客や見学客の受け入れを行った。 ・見学客 163人 ・会議室利用客 120人 ・宿泊客 95人 また、雨漏りを解消するため、茅葺屋根の一部を修繕した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	5,584				
うち佐賀市の負担額	5,418				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
年間入館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
378	507	676	845	929		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
令和3年度夏季にやまびこの湯の指定管理者が行うグランピング事業と連携し、来館者の増加を図る。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	観光情報発信会館維持管理事業	事業期間	平成 24 ~	年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	古賀 伸輔	
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち		
	施策	01魅力ある観光の振興		
	基本事業	観光客の誘致		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市観光情報発信会館「橋の駅ドロンパ」は、徐福上陸の地として伝えられる諸富地区に位置し、国の重要文化財にしてされている筑後川昇開橋に隣接するなど、佐賀市南部地域の主要な観光拠点の一つである。この施設の維持管理を行い、効果的な観光情報の発信を行うことにより、広域的な観光の振興を図る。				
事業の対象者	佐賀市を訪れる観光客				
R2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内特産品等の販売 ・いちご祭りを開催 ・GoToトラベル地域共通クーポンや、各商品券等の取り扱いを開始 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	3,000				
うち佐賀市の負担額	2,629				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
86,764	88,000	89,000	90,000	91,000		

成果指標②						単位
観光情報発信会館での売上金額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
103,498	104,000	104,500	105,000	105,500		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
隣接する筑後川昇開橋や、近隣の新北神社をはじめ、令和2年度に開館した東よか干潟ビジターセンターひがさす、令和3年度にリニューアル予定の佐野常民記念館及び三重津海軍所跡など、他の観光資源とさらに連携を深め、佐賀市南部地域の主要な観光拠点の一つとして、目標達成に繋げたい。また、観光情報発信会館としての情報発信力強化及び国内外の観光客を迎え入れる体制の確立が必要である。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	泉源管理事業	事業期間	昭和 43 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	泉源や各旅館・公衆浴場等への温泉給湯設備を適正かつ円滑に管理運営する。				
事業の対象者	旅館業者及び浴場業者等				
R2年度 主な活動実績	旅館及び浴場施設、温泉スタンドへの温泉給湯を適正に行い、関係施設の円滑な運営に寄与した。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	10,198				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
温泉スタンド売上金額						千円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
394	433	453	472	492		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
温泉給湯設備の経年劣化に伴い必要な修繕が年々増えてきている。設備に不具合が生じた場合は、温泉施設の営業に支障が出ないように速やかに対応したい。また、温泉使用料については、適正な債権管理を行う。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	熊の川温泉衛の湯管理事業	事業期間	平成 10 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	熊の川温泉衛の湯を設置し、地域住民の福祉、健康の増進並びに観光及び産業の振興を図る。有限会社熊の川温泉ちどりの湯を指定管理者とし、施設運営を行っている。				
事業の対象者	佐賀市民及び観光客				
R2年度 主な活動実績	施設の適切な管理を行うとともに、周辺施設との共同による季節に応じたイベントの開催や、それに応じた宣伝広告により集客増を図った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	16,006				
うち佐賀市の負担額	10,999				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
ちどりの湯入館者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
54,573	60,030	62,758	65,487	68,216	

年度	目標	実績
R2	60,030	54,573
R3	62,758	
R4	65,487	
R5	68,216	
R6		

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

年度	目標	実績
R2		
R3		
R4		
R5		
R6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
開設当初に比べ、近隣への類似施設の増加等により、入館者数は年々減少傾向であるが、経営改善のため、近年はSNS等を活用した広報活動やイベントの実施等の強化を行っている。より効果的な広報を行い、入館者の増加に努める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	やまびこの湯管理事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	やまびこの湯を設置し、地域住民の福祉、健康の増進並びに観光及び産業の振興を図る。株式会社創裕を指定管理者とし、施設運営を行っている。				
事業の対象者	佐賀市民及び観光客				
R2年度 主な活動実績	施設の適切な管理を行うとともに、季節に応じたイベントの開催や、それに伴った宣伝広告により集客増を図った。また、館内の各種修繕等環境整備に努めた。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	30,918				
うち佐賀市の負担額	17,571				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
年間入館者数					人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
74,156	96,000	108,000	120,000	120,000	

Year	Target (目標)	Actual (実績)
R2	96,000	74,156
R3	108,000	
R4	120,000	
R5	120,000	
R6	120,000	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

Year	Target (目標)	Actual (実績)
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等
開設当初に比べ、近隣への類似施設の増加や施設の老朽化等により、入館者数は年々減少傾向であったが、さらに、新型コロナウイルス感染拡大の影響により入館者が減少したため、感染拡大防止策を徹底したうえで、入館者の呼び戻しを図る必要がある。指定管理者が行う自主事業の拡充やより効果的な広報の実施等で更なる入館者の増加に努める必要がある。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	温泉地活性化推進事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 観光企画係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光意識（おもてなし意識）の醸成	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	温泉地ならではのイベントの開催や広報事業を行い、温泉地への誘客を図る。				
事業の対象者	佐賀市民、福岡市民				
R2年度 主な活動実績	ホームページの更新業務、SNSの定期的な運用、温泉情報を含めた富士町の観光情報のパンフレットの作成、老朽化し情報が古い案内板の修繕等を行った。 ※令和2年度古湯・熊の川温泉花火大会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,640				
うち佐賀市の負担額	0				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
古湯・熊の川温泉旅館の日帰客数					千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
167,796	184,575	192,965	201,355	209,745	

成果指標②					単位
古湯・熊の川温泉旅館の宿泊客数					千人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
53,317	58,648	61,314	63,980	66,646	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
リニューアルしたホームページの内容を充実させるとともに、効果的な広報を行い、古湯・熊の川温泉及び佐賀市への誘客を図る。また、花火大会等の人気のイベントも継続して開催することで、地域活性化、観光客誘致につなげる。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

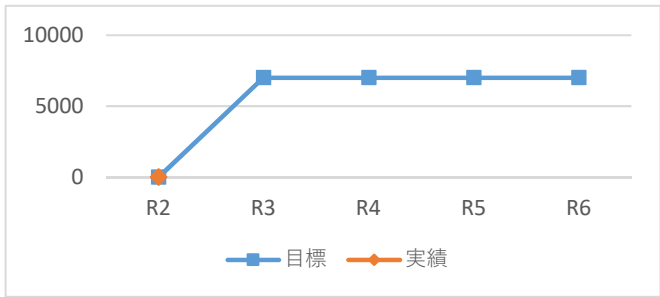
事務事業名	熱気球大会開催事業	事業期間	昭和 55 ~ 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	O1魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 事務事業の基本情報

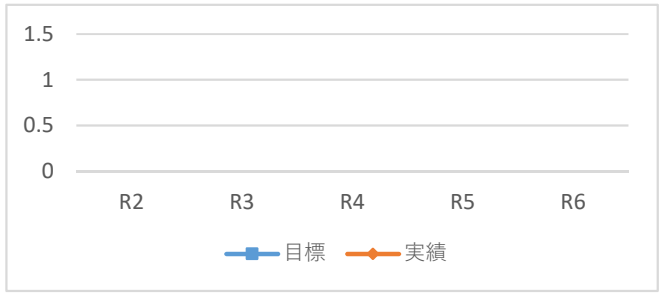
事業概要・目的	佐賀市の秋の風物詩であり、市民の誇り・文化となっている「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」を開催することにより、「熱気球の街さが」のイメージアップを図り、観光客の増加を促進する。				
事業の対象者	バルーン大会の来場者数（観客数、市民）				
R2年度 主な活動実績	新型コロナウイルス感染症の影響により中止				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	13,261				
うち佐賀市の負担額	348				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
経済波及効果					百万円
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
-	7,000	7,000	7,000	7,000	



成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
従来イベントの見直しや新たなイベントの企画を行うとともに、様々な媒体を通じて市内外に対して広く広報を行う。また、新型コロナウイルス感染症に対応したイベントを企画することにより、安心してイベントを楽しんでもらえる環境作りを目指し、地域経済の活性化及び観光客誘致につなげる。

令和3年度 公共事業進捗報告シート

公共事業名	バルーンさが駅改修事業	事業期間	令和 1 ~ 令和 2 年度
担当部署・係名	観光振興課 バルーン係	担当課長名	古賀 伸輔
総合計画における位置づけ	政策	地域資源を活かして新たな賑わいと活力を創出するまち	
	施策	01魅力ある観光の振興	
	基本事業	観光機能の整備	

1 公共事業の基本情報

整備概要	バルーンさが駅利用者の増加に伴う安全確保のために駅ホーム上り線の拡幅工事を行うもの。				
整備の目的	年々駅利用者数が増加しているため、更なる安全性の確保が必要な状況となっており、駅機能を拡充し利便性の向上を図るため、ホーム拡幅等の改修を実施したもの。				
事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R1年度	R2年度	年度	年度	年度
工事請負費		57,583			
測量・監理等委託料	5,038				
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	5,038	57,583			
うち佐賀市の負担	5,038	2,883			
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					57,583
測量・監理等委託料					5,038
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計					62,621
うち佐賀市の負担					7,921

2 事業の進捗率

R1	目標 実績	R2	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
	10.0% 10.0%	100.0% 100.0%								

